

退任の
ごあいさつ

応援していただいた 佐渡の皆さまに感謝！



松ヶ崎・岩首地区担当
渡部 晴菜

8月に「松ヶ崎留学親子オンライン体験会」を開催しました。学校説明会と交流会の2部構成で、新型コロナウイルス対策のためオンラインで実施しました。

学校説明会には2組の参加があり、地域の紹介や松ヶ崎小中学校の説明、参加者の質問や相談にお答えしました。オンライン交流会では、参加者と地域の子どもたちが交流を行いました。交流会は松ヶ崎中学校の総合的な学習の時間に取り組んでいる「地域おこし」企画とのタイアップで、企画から当日の運営まで中学生全生徒が主体的に関わってくれました。中学生ならではのアイデアで参加者の方も地域もみんなで楽しめる交流会となりました。

松ヶ崎小中学校のような環境を必要としている方、島での子育てに興味をもっている方に地域と学校を知っていただくきっかけになったと感じています。

私事ですが、9月末をもって協力隊を退任することとなりました。たくさんの方に地域の活動を応援していただき大変感謝しております。これからは一住民として佐渡で暮らしながら地域の魅力を伝えていきたいと思います。皆さま本当にありがとうございました。



☎地域振興課地域振興係 ☎63-4152

市立病院から こんにすは

両津病院 副院長 岩谷 淳先生 診療科目/小児科

マスクについて

新型コロナウイルスの流行でマスク着用の習慣のなかった欧米各国においてもマスクの着用が推奨されています。インフルエンザなど多くの感染症では、症状のある人から感染することが多いのに対し、新型コロナウイルスは発症する2日くらい前から強い感染力があることがわかってきたためです。

手で頻繁にマスクに触ります。また、マスクを病原体がウヨウヨしていると思われる床に落とし、それを拾ってかけ直したりします。不適切なマスクの使用は、口や鼻の周囲に病原体を運ぶことになってしまふのです。また、夏期にはマスク着用により熱中症の危険が増すことが心配されています。

新型コロナウイルスに感染した人の約半数は、症状のまだ出ていない潜伏期の感染者から感染していると考えられています。そのため、感染流行拡大地域では、無症状で新型コロナウイルスに感染し、蔓延している可能性があります。人混みでみんながマスクを着用すれば感染の抑止力になると考えられています。

一方、WHOやユニセフから「5歳以下の子どもはマスクを適切に使用できない可能性がありマスクを着用すべきでない」との助言が表明されました。幼い子どもは病原体が付着しているかもしれない

感染流行拡大地域では「人混みを避ける」「手洗いを励行する」ことが大切です。

次回は両津病院の小林先生です。